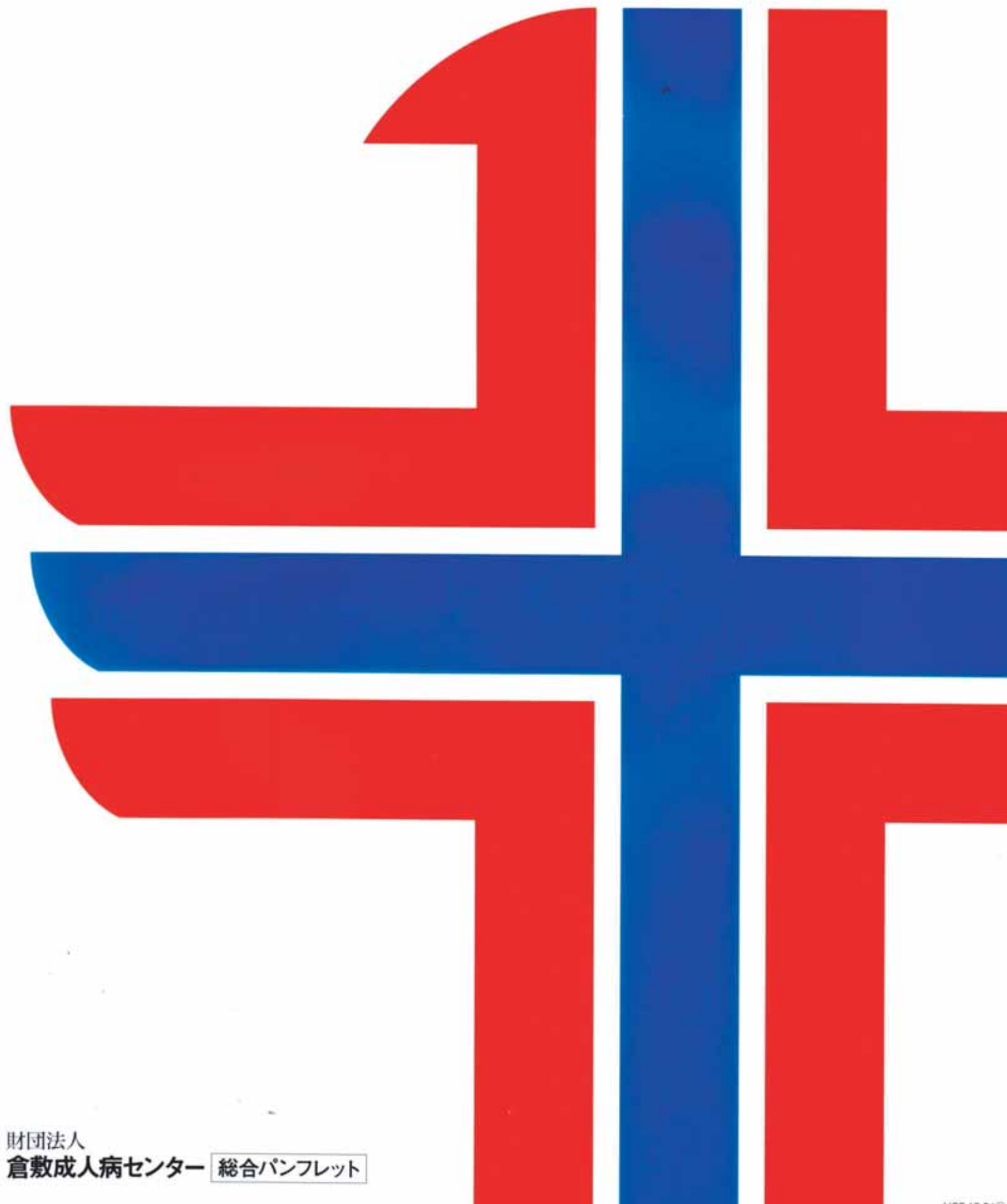


# Kurashiki Medical Center



**クリニック棟** [倉敷成人病クリニック]  
 全ガラス張りの外観や中央部の大きな吹き抜けは、ホテルのホスピタリティを取り入れた仕様です。診察室はプライバシーの保護に重点を置き、すべて個室。患者さんと職員の動線を完全分離した配慮も特徴です。



**センター棟** [倉敷成人病センター]  
 地階は無菌調剤室、臨床工学科など、1階は紹介外来の受付や内視鏡センターなど、3階から8階は全個室の病棟で、最上階はレストラン。2階は手術フロアで、清潔と不潔の動線を完全に分離した感染対策をとっています。

**南棟** [倉敷成人病センター]  
 1階にはリハビリテーション室、3階には透析センターを配置しています。



財団法人 倉敷成人病センター [データシート・他の情報] について  
 このポケットにあるデータシートおよび他の情報は、配布された年の最新のものになります。過去に配布されたものに関しては、古い情報となりますので、必要な場合は、再度資料請求していただくようお願いいたします。

[倉敷成人病センターからのメッセージ] P.4~P.6



倉敷成人病センターは、  
“ひとりひとりにやさしく、  
最良の医療を提供する病院”

[理念と基本方針、診療部門・コメディカル] P.7~P.12



## 原点を忘れない

**1** 地域の人々から信頼されること  
患者さんが理解し、納得できるコミュニケーションに努めます。



**2** 明るい職場で最良の医療を  
最良の医療を提供するため、前向きで明るい職場づくりを大切にします。



**3** 常に夢をもって前進し  
高機能を有する

各自が専門性を磨き、夢を持って最先端の知識や技術を学びます。



**4** 患者の意思を尊重する

患者さんの権利とプライバシーを尊重し、その保障に努めます。



当院の診療部門紹介、コメディカル紹介

## 知って欲しい「当院の強み」

「明るく、親切、ステキな笑顔」の看護部スタッフ、がん専門薬剤師によるサポート外来、レストランの雰囲気づくりなど、患者さんを癒すための先進的な取り組みに情熱を注いでいます。



P.13~P.16

沿革、健康保険法の施設基準、保険外併用療養費・入院時食事療養に係る療養の基準等、指定施設・認定学会等 P.17

フロアガイド・データシート他 P.18



倉敷成人病センターのロゴマークについて  
赤が動脈、青が静脈を表しています。十字は大空に向かって飛んでいく鷹をイメージしたものです。  
十字の上部は頭と口ばし、左右は羽を表しています。

## 倉敷成人病センターは、“ひとりひとりにやさしく、 最良の医療を提供する病院”

当院は、昭和46年(1971年)に財団法人倉敷成人病センターとして開設しました。  
「医学の進歩は人間を幸せにするためのものである」を原点に、人間愛と向上心に富み、  
地域の人々から信頼される医療を提供することを目指してきました。

生活習慣病など一般的な慢性疾患から、整形外科・眼科・皮膚科疾患、また消化器、  
泌尿器、女性生殖器、乳腺に至る全身の悪性腫瘍の外科的治療まで幅広い診療を  
行っているほか、リウマチ膠原病、肝臓病、人工透析、不妊治療、小児神経疾患、小児  
膠原病・アレルギー疾患、ED治療、女性骨盤臓器脱治療、ペインクリニック、放射線科  
による動脈塞栓術など特殊専門領域についても力を入れています。さらに、周産期  
医療では次世代の母子を支援することが周産期センターの使命と考え、地域の妊婦に  
安心・安全な出産の場を提供しています。

「臨床」「研究」「予防」を医療の三本柱に、より高度な医療を求めて学術研究や健診  
活動にも積極的に取り組み、平成6年(1994年)には健診センターを新築移転しました。  
また、開設当初より患者さんに寄り添い、耳を傾け、“ひとりひとりにやさしく、最良の医療  
を提供する病院”をモットーに努めてきました。アンケート調査などで当院のイメージを  
「やさしい」とする声を数多くいただいていることは、職員一同、何よりの喜びです。

平成16年(2004年)にはセンター棟、同18年(2006年)にはクリニック棟を「ホスピ  
タリティー(おもてなし)」をテーマに新築しました。平成23年(2011年)には、職員が  
その能力を発揮し、仕事と生活の調和を図って働きやすい雇用環境の整備を目指して、  
5年間の行動計画を策定。すべての患者さんとその家族にやさしさを隅々まで届ける  
ためにも、職員の待遇や職場環境の改善を行っていきます。

私たち倉敷成人病センターは、生命の誕生から老年までの医療を通して、人の手の  
温もりが伝わる、人間的医療を総合的に考えていきます。

私たちの提供する医療が皆様を幸せにするものでありますように――。



倉敷成人病センターの「理念」とは?

# 原点を忘れない

『医学の進歩は、人間を幸せにするためのものである』  
この医学の精神を軸に取り組むこと。

どれほど医学が進歩しようと、私たちが医療に携わる者として目指すもの。それは、「患者さんを幸せにする」ということ。決して変わることはない、私たちの原点です。この崇高な理念を実現するため、4つの基本方針『地域の人々から信頼される特徴ある病院』『明るい職場で最良の医療を提供する病院』『常に夢を持って前進する高機能を有する病院』『患者の人権と意思を尊重する病院』に基づき、日々の診療にあたっています。

患者さんの幸せは「患者さんの権利」を尊重するところから始まると、私たちは考えます。そして、「平等で最善の医療を受けること」「安全が確保されること」「自己の医療にかかわる情報が入手できること」「適切な説明を受け、自己決定権が確保されること」「セカンドオピニオンが保たれること」「プライバシーや個人情報が保護されること」「個人の尊厳が保たれること」の7つを“尊重されるべき患者さんの権利”として宣言し、その遵守に努めます。

4つの基本方針・診療部門・コメディカル

# 1 地域の人々から信頼されること

**基本方針** 私たちは、患者さんからの訴えを謙虚な気持ちで聴き、丁寧で分かりやすい説明と誠実な対応で、患者さんが理解し納得できるコミュニケーションに努めます。



Adobe Photoshop クリップ画像が大きすぎて出力できません。

# 2 明るい職場で最良の医療を

**基本方針** 患者さんの心身を癒す医療を提供するためには、私たち自身が健康な心と体を保っていなければなりません。活発に意見が交わされるリベラルな雰囲気、垣根がない連携の良さなど、明るく前向きな職場づくりを大切にしています。



## 【診療部門紹介】



**内科**  
多種多様な訴えを持って受診される患者さんに対して、極力速やかに的確な診断と治療が実践できるよう、各分野の内科専門医と協力しながら、また必要に応じて他科の専門医とも連携しながら、日常診療を行っています。



**肝臓病治療センター**  
肝炎から肝硬変および肝がんに至るまでの治療に対応しています。C型肝炎に対するインターフェロン治療は原則外来通院で治療しています。肝がん治療はラジオ波焼灼療法と肝動脈塞栓術との併用を主体に行っています。



**リウマチ膠原病センター**  
関節リウマチや全身性エリテマトーデスなど約2,000名の膠原病患者の診療を行っています。岡山県難病医療連絡協議会の協力病院、OKAYAMAリウマチネットワークの中核病院として、地域のリウマチ膠原病センターとしての役割も担っています。



**透析センター**  
末期腎不全の患者さんに対する治療法として、腎移植・腹膜透析・血液透析があります。当院では血液透析を行っています。各診療科や栄養士との連携を取り、栄養管理や慢性腎不全の治療を行っています。



**婦人科**  
開腹手術に比べて傷が小さくて済む腹腔鏡手術で全国的に知られ、日本全国から患者さんが来院されています。特に婦人科がんと重症子宮内膜症に対する腹腔鏡手術に力を入れており、患者さんの希望に即した質の高い医療を提供しています。



**周産期センター**  
当院の出産件数は2010年1,651件と増加の一途をたっています。地域の妊婦に安心・安全な出産の場を提供し、近隣の高機能病院や子育て事業などとも連携して、次世代を担う母子を支援することが当周産期センターの使命と考えています。



**体外受精センター**  
妊娠・出産を希望するご夫婦に、病態、年齢、結婚期間などに応じた治療、特に体外受精、顕微授精、凍結胚移植などの生殖補助医療(採卵を要する方法)を中心に行っており、受診者の60%以上が子供を得ています。



**小児科**  
てんかん、自閉症、ADHDなどの発達障害、脳性麻痺などの小児神経疾患、そしてアトピー性皮膚炎、自己免疫疾患などの小児アレルギー・膠原病疾患を中心に診療しています。年間出生1,600人を超す赤ちゃんへの新生児医療も行っています。



**外科**  
胃・大腸・肝胆膵の消化器がんを中心とした消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科の専門分野に分かれ、胃・大腸がんや肺がん、甲状腺、ヘルニアなどに対しても積極的に鏡視下手術に取り組んでいます。



**整形外科**  
骨、関節、筋肉などを専門とします。人工関節を入れたり、各関節周囲の骨切りを行ったりするほかに、筋、腱の手術、さらに顕微鏡を使った神経の手術や関節鏡による小児腕の手術、脊椎の手術などを行います。



**泌尿器科**  
腎臓・尿管・膀胱・尿道などの尿路系の結石や腫瘍をはじめ、内分泌臓器である副腎・副甲状腺の腫瘍、前立腺や男性不妊の原因となる男性生殖器官疾患、ED、男性更年期障害、女性骨盤臓器脱、排尿障害など尿路通過異常を総合的に診療します。



**眼科**  
白内障手術などの地域医療に加え、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症や黄斑疾患などの眼底疾患に対する内科的・外科的な専門治療に特に力を入れており、最終病院として機能しています。視機能の回復、改善、維持に努めます。



**皮膚科**  
皮膚科は新生児から高齢者まで、全身の皮膚だけでなく髪や爪も診察します。皮膚疾患は多岐にわたり、皮膚のみの病気ではなく内科疾患を合併していることもあるため、他科とも連携しつつ治療を行っています。



**麻酔科**  
麻酔科は、患者さんが安全に苦痛なく治療を受けられるように手術をサポートします。また、その知識と技術を生かして重症患者さんの集中治療から専門的に治療を行う疼痛外来まで、幅広くカバーしています。



**放射線科**  
CT、MRI、核医学検査などの画像を撮影して各診療科に診断レポートを送っています。当科で行う治療として血管造影の手法を用いた動脈塞栓術、血管拡張術やCTガイド下の腫瘍ドレーナージなどにも積極的に取り組んでいます。



**病理診断科**  
病理専門医、細胞診専門医と国際資格を持つ8名の細胞検査士が病理組織診断、術中迅速診断、細胞診などの検査を行っています。正確な診断により患者さんが適切な治療を受けることができるよう、診断精度の向上に努めています。



## 基本方針 常に夢をもって前進し 高機能を有する

医療の最先端技術や知識を学ぶことは最も重要な使命。各自が専門性を磨き、高いレベルにチャレンジし続けることはもちろん、研究論文に熱心に取り組むこと、国内外の学会研究、資格取得などにも力を入れています。

常に学ぶ意識

アカデミックな環境

挑戦を支援する体制

医療の未来を切り拓く

## 患者さんの意思を尊重する

基本方針 患者さんの権利とプライバシーを尊重し、その保障に努めています。どのような治療を選び受けていくのか必要な情報を開示し、分かりやすく説明した上で、意思決定の手助けとその後のフォローに配慮しています。

権利とプライバシーの尊重

十分な情報開示

意思決定をサポート

QOLを保つ最良の治療

※QOL＝クオリティ・オブ・ライフ(Quality of Life)。「その人がどれだけ自分らしい生活を送り、幸福を感じて生きているか」ということを尺度としてとらえる概念。

### [コメディカル紹介]



#### 内視鏡センター

日本の消化器領域の内視鏡レベルは、世界に誇れる高いものです。この高度な内視鏡の診断および治療技術を背景に、罹患率の高い胃がんや大腸がんなどを中心に消化管疾患の早期発見、早期治療に日々努めています。



#### 内視鏡手術センター

熟達した医師が、体に優しく傷の小さい内視鏡手術を行います。婦人科における子宮がん、卵巣がん、子宮筋腫など年間1,100例の実績があります。ほか、消化器外科は胆石症、胃・大腸がん、ヘルニアなどに190例、泌尿器科は腎摘出術などに50例。



#### コメディカルとは

診療を支援する部門のスタッフのことです。その業務は、診療以外のリハビリ、放射線、検査など多岐にわたります。病院ではこれらスタッフと医師、看護師との連携のもとに、患者さんの診療・治療が進められています。



#### 薬剤科

がんや感染症、緩和ケア、糖尿病など各スタッフが専門性を持ち、調剤の安全面に寄与するだけでなく、チーム医療にも積極的に参加し、「顔の見える薬剤師」として専門性を生かせるレベルを目指します。



#### 放射線技術科

放射線や超音波、電磁波を使った画像診断の検査を行います。マンモグラフィー担当は全員女性で、認定技師資格を有しているのも特徴。検査への不安を取り除くためしっかりと説明しています。



#### 臨床検査科

血液、細菌、生化学、腫瘍、感染症などの検査全般を迅速・正確に行います。全国で初めて更試業など学術活動にも率先して取り組む一方、患者さんと接する採血の現場では親切丁寧な対応を心がけています。



#### 臨床工学科

医療機器の保守・点検・維持および看護師への医療機器教育を行っています。医療事故を防ぐため、機械メーカーや操作性を統一し、チーム医療の一員として円滑なサポートができる体制づくりに努めています。



#### リハビリテーション科

患者さん1人ひとりの症状に加え、地域や生活などにも考慮したプログラムの下、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、個別対応でリハビリに取り組みます。婦人科系がん・乳がんのリンパ浮腫にも対応しています。



#### 栄養管理室

外来・入院の栄養指導では食品の利用の仕方や買い物の仕方など実践的なアドバイスを心がけ、「できたこと」を大切にします。入院食は「家庭の食事のように」をコンセプトに献立や食器を工夫しています。



#### 総合相談室

患者さんから「信頼できる」「相談して良かった」と思ってもらえるように、ソーシャルワーカーがじっくりと話を聴き、心に寄り添いながら、情報提供やアドバイスを行い、一緒に解決策を探っていきます。



#### 診療情報管理課

個人情報保護法などの法律に照らしてカルテの適正保存を行うほか、各診療情報を基に治療の適不足を見直し、治療の標準化および透明化を図って、患者さんに分かりやすいクリニカルパスを作成します。



#### 医師補助支援室

医師の事務作業負担軽減のため、主に生命保険の診断書や傷病手当など書類の代行作成を行い、その他必要に応じて積極的な支援に取り組んでいます。



倉敷成人病センターは、地域を支える病院として、未来を築き続けています。

知って欲しい“当院の強み”



## 基幹型臨床研修指定病院・ 日本医療機能評価機構認定病院

基幹型臨床研修病院として初期・後期研修医を受け入れ、指導医による臨床研修を実施しています。また、国民の健康と福祉の向上を目的とした第三者機関(財)日本医療機能評価機構による認定病院です。



### チーム医療～疾患ではなく、人を診る医療を～

患者さん中心の医療を実現するため、医師や看護師、各技師らが垣根を越え連携する「チーム医療」。一人ひとりの患者さんに対して、今、何が必要か多面的に論議し、最良の医療に取り組んでいます。



### 看護部～「明るく、親切、ステキな笑顔」をモットーに～

病院の理念に照らし、「安心と安全な看護を保障する」が看護部の理念です。そのために「明るく、親切、ステキな笑顔」をモットーとし、いつもそばにいて、目線を合わせ、じっくりと話を聴いて、信頼関係を築いていくように努めています。「やさしく親切」という患者さんからの評価は、当院が開院したときからの歴史的な積み重ねであり、そのことを全スタッフが大切にしています。また、急性期を担う病院の看護師には、高度な知識と技術、そしてあらゆる場面に応じた適切な判断力が必要とされます。安心安全な看護を保障するため、日々の仕事と平行して教育に力を入れ、専従の担当者を配置して専門・認定看護師などの人材育成に取り組んでいます。

### 地域医療連携室～地域一体で良質な医療を提供できる体制～



地域の医療機関は、(1)病状が大変なとき(急性期)に高度で専門的な医療を行う病院、(2)急性期が終わり安定した状態へ回復するまで(回復期)の治療を担う病院、(3)初期治療や診断および安定した状態の管理を担う診療所、というように機能に応じて役割を分担しています。急性期医療を担う倉敷成人病センターでは、地域医療連携室を設置し、紹介の受診予約受付、他院への紹介予約、各医療機関との情報交換、各科勉強会の開催などの業務を通じて地域の医療機関との協力・連携を深め、良質な医療を提供できる体制づくりを進めています。



### サポート外来～がん患者さんの日常を支えるために～

医療の進歩により、がんが診断されてからの生命予後が格段に長くなった今、がんの治療を続けながら、仕事や家庭生活、余暇活動を楽しみたいという患者さんのニーズにこたえるため、2008年5月に開設したサポート外来。全国でも有資格者の少ないがん専門薬剤師が、主治医と連携をとりながら、抗がん剤の管理や緩和ケアに関するサポートを行い、がん患者さんの日常を支えています。



### 病室はすべて個室、アメニティーも充実

入院生活が快適なものになるよう、すべての病室は(特別室一室を除く)“差料料金”の無い個室で、1室の床面積は現行基準の2倍の広さ。茶色を基調とした温かみのある落ち着いた室内には、トイレ、シャワー、テレビ、DVDプレーヤーを完備。また、全室にセイフティーボックスを設置しています。



病室



病室から見える風景

### レストラン、売店、駐車場

最上階のレストラン「R-テラス」は、リフレッシュ&リラクスの憩いの空間。一流ホテルの元シェフが提供する料理は、会席風のスマイルランチなど、美しい盛り付けとヘルシーなおいしさが人気です。売店は、クリニック棟とセンター棟の1階に計2カ所、駐車場は約400台分と利便性にも配慮しています。



ウッドデッキ(R-テラス屋外)



レストラン「R-テラス」



レストランメニュー



売店



駐車場

### (財)倉敷成人病センターグループ



健診施設  
倉敷成人病健診センター  
〒710-0824 岡山県倉敷市白葉町282  
TEL:086-427-3333 FAX:086-422-6693



介護老人保健施設  
ライフタウンまび  
〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田1130  
TEL:086-698-9000 FAX:086-698-9133



### 財団法人 倉敷成人病センター〔沿革〕

1971年7月	財団法人倉敷成人病センターを設立	1997年12月	真備町に介護老人保健施設「ライフタウンまび」を開設
1971年8月	須原病院を開設(病床数:164)	1999年9月	病床変更(病床数:269)
1978年7月	本館改築および新館5F増築(病床数:231)	2003年10月	電子カルテ導入
1980年5月	病床変更(病床数:201)	2004年6月	新病院棟 新築
1982年1月	病院名を南くらしき病院に変更	2006年1月	倉敷成人病クリニック 新築
1982年10月	病床変更(病床数:202)		
1988年4月	東館増築(病床数:230)		
1994年6月	健診センター新築移転 倉敷成人病健診センターと名称変更		
1997年8月	病院名を倉敷成人病センターに変更		

### 健康保険法の施設基準

一般病棟入院基本料 7対1	ハイケアユニット入院医療管理料	画像診断管理加算1
臨床研修病院入院診療加算 基幹型	小児入院医療管理料5	画像診断管理加算2
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	糖尿病合併症管理料	CT撮影及びMRI(CT)
妊産婦緊急搬送入院加算	がん性疼痛緩和指導管理料	CT撮影及びMRI(MRI)
診療録管理体制加算	がん患者カウンセリング料	外来化学療法加算1
医師事務作業補助体制加算3(25対1)	地域連携診療計画退院時指導料(1)	無菌製剤処理料
急性期看護補助体制加算1(50対1)	ハイリスク妊産婦共同管理料(1)	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
療養環境加算	がん治療連携指導料	運動器リハビリテーション料(1)
重症者等療養環境特別加算 個室	肝炎インターフェロン治療計画料	運動器リハビリテーション料(II)
栄養管理実施加算	薬剤管理指導料	がん患者リハビリテーション料
医療安全対策加算1	薬剤管理指導料 医薬品安全情報等管理体制加算	集団コミュニケーション療法料
感染防止対策加算	医療機器安全管理料1	人工腎臓 透析液水質確保加算
褥瘡患者管理加算	HPV核酸同定検査	ペースメーカー移植術、交換術
ハイリスク妊産管理加算	検体検査管理加算(1)	体外衝撃波腎・尿管結石波砕術
ハイリスク分娩管理加算	検体検査管理加算(IV)	膀胱水圧拡張術
慢性期病棟等退院調整加算2	コンタクトレンズ検査料1	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6
急性期病棟等退院調整加算1	小児食物アレルギー負荷検査	輸血管理料(1)
救急搬送患者地域連携受入加算	センチネルリンパ節生検	麻酔管理料(1)
総合評価加算	乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2	

### 保険外併用療養費・入院時食事療養に係る療養の基準等

特別の療養環境の提供  
病院の初診  
入院期間が180日を超える入院  
入院時食事療養費(1)

### 指定施設・認定学会等

基幹型臨床研修病院  
健康保険法、国民健康保険法指定医療機関  
労災保険指定医療機関  
生活保護法指定医療機関  
母子保健法規定による養育医療機関  
結核予防法指定医療機関  
被爆者一般疾病指定医療機関  
母体保護法指定医師研修医療機関  
救急病院指定医療機関  
労働衛生機関評価認定施設  
特定疾患及び小児特定疾患治療研究事業委託機関

特殊健康診断実施機関  
短期人間ドック実施指定機関  
政府管理健康保険成人病予防健診実施委託機関  
岡山県胃腸科検査施設  
岡山県大腸がん精密検査施設  
岡山県肺がん精密検査施設  
岡山県乳がん精密検査施設  
岡山県不妊治療支援事業医療機関  
岡山県肝炎1次専門医療機関  
日本内科学会(教育関連病院)  
日本消化器病学会(認定施設)  
日本消化器内視鏡学会(指導施設)  
日本泌尿器科学会(専門医教育施設)  
日本外科学会(専門医制度研修施設)  
日本消化器外科学会(専門医研修施設)  
日本リウマチ学会(教育施設)  
日本肝臓学会(認定施設)  
日本医学放射線学会(放射線専門医研修機関)  
日本産科婦人科学会(午後研修指導施設)  
日本周産期・新生児医学会(専門医制度研修施設)

日本小児科学会(専門医研修施設)  
日本小児神経学会(専門医制度研修施設)  
日本アレルギー学会(教育施設)  
日本眼科学会(専門医制度研修施設)  
日本皮膚科学会(専門医研修施設)  
日本整形外科学会(専門医研修施設)  
日本麻酔科学会(麻酔指導病院)  
日本超音波医学会(研修施設)  
日本病理学会(研修登録施設)  
日本臨床細胞学会(認定施設)  
日本静脈経腸栄養学会(NST稼働施設)  
日本ペインクリニック学会(指定研修施設)  
日本がん治療認定医機構(研修施設)  
日本乳癌学会  
マンモグラフィ検査精度管理中央委員会(マンモグラフィ検査施設)  
日本医療薬学会(がん専門薬剤師研修施設)  
日本腎臓学会(研修施設)  
日本透析医学会(教育関連施設)



#### ■JRでお越しの方

JR倉敷駅下車。徒歩約20分、バスまたはタクシーで約5分

#### ■バスでお越しの方

下電バスの場合「倉敷IC」より「倉敷成人病センター」行き乗車「倉敷成人病センター前」下車

両備バスの場合「大高」より「倉敷成人病センター」行き乗車「倉敷成人病センター前」下車

#### ■高速道路ご利用の方

山陽道の場合「倉敷IC」より車で約15分、瀬戸中央道の場合「早島IC」より車で約15分

#### ■岡山空港からお越しの方

空港連絡バス「倉敷行き」乗車 終点「JR倉敷駅」下車  
JR倉敷駅より徒歩約20分、バスまたはタクシーで約5分

#### 【駐車場について】

24時間駐車可能(約400台)。外来受診の方は、5時間以内無料(追加:100円/30分)  
一般の方・お見舞いの方は、30分以内無料(追加:100円/1時間まで、1時間以上:100円/30分)



〒710-8522 岡山県倉敷市白楽町250 TEL:086-422-2111(代) FAX:086-422-4150(代)  
<http://www.fkmc.or.jp/>



スマートフォン・PCから  
WEBサイトへアクセス